

一、午前十一時ヨリ陸軍部局長會議開催
 第一第二部長軍務局長第二十班長種
 村中佐軍務軍事課長西浦大佐石井
 二宮兩中佐出席ス
 午後七時ニ至リ外交ノ目途ナシ速ニ開戦
 決意ノ御前會議ヲ奏請スルヲ要ストノ
 結論ニ到達ス
 右目途ナシノ理由特ニ連絡會日議ニ於ケル
 應答要領ニ就テモ研究シ餘ス所ナシ
 二、情報ニ依リハ總理ハ開戦ヲ決意セルガ如
 シト夜半要大臣ト個別ニ會談シアリト

陸軍部 第二十三

云フ
 俄然部内色々ナキ心中駭愕スルモノアリ
 敵ハ海相ノミ
 三、皇國ノ運命ヲ決スベキノ秋貞ニ一身ヲ滅シ
 テ奉公ニ精進セザルベカラズ當田班ノ士貝整
 亦重大ナリト云フベシ

一 開戦決意ニ關スル對政府應答要領ヲ
 印刷總長大臣 第一部長等ニ配布ス
 二 午前十時頃ニ至リ總理ハ決心シアラズトイ
 情報ヨリ昨夜大臣總理ト會談セル結果ナリ
 總理ハ駐兵ニ關シ表現法ニ就キ考慮ノ
 餘地ナキヤ對閣印交渉ハ如何等ノ意見
 圖ヨリ大臣ハ明確ニ考慮ノ餘地ナシト述べ
 タルカ如シ
 三 午後三時ヨリ陸海部局長會議キ午後六時
 二至ル
 果悉陸海意見對立ス

陸軍ハ目途ナシ海軍ハ目途アリト
 海軍ハ駐兵ニ關シ考慮セル目途アリト云フニ
 在リ
 軍令部ノ決心如何軍令部總長ハ昨日連
 絡會議席上カスカシヨシノ餘地ナシト強
 硬發言セルニ右目途アリノ海軍正式意見
 ハ之レ如何
 分ラヌモ一ハ海軍ナリ海軍トハ抑々如何ナル
 モナリヤ憤激ニ堪ヘズ
 海軍第一部長十南方戰爭ニ自信ナシト云フ
 船舶ノ損耗ニ就キ戰爭第一年ニ一四〇万

擊沈セラレ自信ナシト云フ
 岡軍務局長比島ヲヤラズニヤル方法ヲ考ヘ
 様デナイカト云フ今頃何事ゾヤ
 御前會議ニ於テ御聖断下リタルモノヲ
 海軍ハ勝手ニ變更セントスルモノナリヤ
 誠ニ言語同断海軍ノ無主責任不信正ニ
 國家ヲ亡ホスモノハ海軍ナリ
 四 大臣總長會談シ左記陸軍ノ方針ヲ
 確定シ海軍及總理ヲ説得スルニ決ス
 一 陸軍ハ日米交渉目途ナシト判断ス
 二 何レニシテモ兼日本水原則ヲ承認

セザルモノナルヲ闡明ス
 又駐兵ニ關シテハ一切ハ表現法ヲモ含ム變
 更セズ
 三 若シ政府ニ於テ見込アリト云フナラバ十五日
 ヲ限度トシ外交ヲ行フモ差支ナシ
 尚統帥部トシテハ海軍統帥部ニ左記
 二點ニ就キ駄目ヲオスコトス
 一 南方戰艦ニ自信ナキヤ
 二 御前會議決定ヲ變更セントスルヤ

一 午前西總長並西大臣夫々會談ス
 軍令部總長ハ左記ヲ筆記海相ニ手
 交セルモノ如シ
 二 交渉成立ノ自途ナキモノト認ム
 三 交渉スルト云ツテ十五日迄ニ必成ル見
 込アルナラバヤツテモ差支ナシ
 四 何レニシテモ十五日以降ニ延ビルコトハ不可
 而總長會談ノ結果ハ意思見合完全ニ成ス
 但シ昨日ノ部長局長會談ニ於テ海
 軍第一部長ノ發言ニモ鑑ミ軍令部
 ヲ總長ニテノ強キ意思見ナルヤ否ヤハ疑問ナリ

西大臣ノ會見ハ決論ニ至ラズシテ物別レトナル
 但シ海相ハ自途アリト云フ
 御前會議決定ヲ變更スルモノナリヤト問ヘハ
 然ラズ戰争ノ能否政洲情勢ヲ見ザルベ
 カラズト應酬ス明確ナル意思表示ヲナサズ
 其ト眞意不詳ナルモ開戦回避ナル疑フベ
 カラザルモノアリ
 二 午前陸海主任課長會談シ昨日ニ於ケル海
 軍部局長ノ發言ニ對シ嫌味ヲ述ブ
 右ニ對シ午後石川大野小野田ノ三大位
 來リ辨明ス曰ク船舶損害一四〇万屯ハソコ

云フストモアルト云フストヲ政府ニモ速ベ政府ノ
覺悟ヲ促スニ在リ又莫米可分ハ一應研究シ
ヨクテハナイガト云フ輕イ意味ニ過ギスト爾
今海軍ハ莫米可分ヲ問題ニセスト

三、夜總理大臣會談ス

總理ハ大臣ノ説明ヲ聞ケバ立息ヲ強ウスルモ
果シテ戰争ニ自信アルヤヲ疑フ
又陸軍ハ次テ北方ニ擴大セんとスルニ非ズヤ
ヲ疑ヒアリ又駐兵ニ關シ讓歩ノ餘地ナキヤト
富田書記官長ハ軍務局長ニ十一月一杯
外交ヲ行フノ餘地ナキヤト云フ

近衛ノ不可變ナキ誠ニ國家ノ爲悲シムベシ
大臣考慮ノ餘地ナキ旨明確ニ應酬ス

一 陸海意見見一致ヲ如何ニシテ策スベキヤ
 本日ハ兩方共ニ靜觀ヲアリ
 總長大臣完全ニ意見一致シアルハ甚強シ
 二 陸海意見見不一致ノ下ニ連絡會議開催
 ハ不可得ラスヤ政變トナルベク且新内閣ハ成
 立シ得ハシ
 三 軍令部總長ヲシテ海相説得セシムルコトモ不
 可能ナリ又總長ハ陸海四首腦會議ハ不可
 ナリト云フ蓋シ永野總長ハ軟化スベシト考ヘ
 アリ結局陸相ヲシテ海相ヲ説得セシムルニ
 若カズ而シテ夫ハ甚ダ困難ナルベク結局

政變ノ外ナキヤ
 四 政府ハ駐兵條件ノ軟化ニ依リ更ニ交渉續行ノ
 意圖アリト云フ
 絶對不可ナリト云フスカツシヨニノ餘地ナシ
 政府側右ノ如キ意圖アリト見タルニ依リ本日
 ノ情報交換ハ之ヲ拒否セリ
 五 本日ヨリ對米交渉ヲ中心トスル輿論指導(十月
 三日閣議決定昨日情報局總裁ヨリ説明)
 新聞紙上ニ表面化ス
 六 總理山本聯合艦隊司令長官ト會談セ
 リト云フ其ノ真偽及會談内容不明ナリ

日 9 月 10 年 16 癸 陸

一 昨夜海相陸相ニ會談ヲ末々來ル
 稍 同調ニ來ルルガ如ク 明調ヲホツツアリ
 海相駐兵ノ表現形式ニ關シ變更ノ餘地
 ナキヲ應酬ス
 海相ハ期限延長ニ關シテハ不動ノモノナリト
 述ブ本件ハ可ナリ
 二 駐兵ノ表現形式及日米交渉トワシントシ會
 議ニ關シ作文ヲ大匠總長ニロシス
 駐兵ノ表現形式ニ關シテハ原案以外絶
 對不可ナル旨統帥部ノ態度ヲ陸軍
 省ニ移セリ陸軍省石井中佐軍務局長

陸 軍 省 日 誌 第 二 十 三 號

日 月 年 癸 陸

三 八若干變更スルモ差支ナキガ如キ意因アリ
 武藤局長ノ態度ハ抑々不可解ナリ
 三 右表現形式及日米交渉トワシントシ會議
 ニ關シ次長軍令部次長ニ説明シ參謀本
 部ノ強硬態度ヲ明カニセリ
 四 今ヤ陸軍ノ態度ハ海軍總理ニ遺憾ナ
 ク通ケリ 後ハ總理ノ決ハト海相ノ齟齬
 ヲ俟ツノミ
 五 午後三時ヨリ情報交換參謀本部一第
 二部及軍令部第三部ノ情報判斷ヲ
 岡本少將説明ス次ニ連絡會議開催

結論ヲ急グズ野村ニ馭目ヲ押サシメアルヲ
以テ其ノ返電ヲ待ソトニシ散會ス

- 一 一日中大勢動カズ陸海巨頭ノ動キナシ
野村ヨリ電アリタルガ如キモコナラノ質問ニ應
ジタル内容ニアラズ外相怒ルポイント合ハサル
モノ、如シ
- 二 陸海集會所ニテ茶ヲ飲ミテ小野田大佐
ト情報ヲ交換ス
海軍課長設ニテ大臣ニ軍務國務大臣ト
シテ兼任ヲ負ヘルヤノ詰問の意見其申
ヲナセルガ如ク大臣稍々同調シ來ルルト云フ
- 三 陸軍省稍々軟化セルガ如シ軍務局長
石井中佐等駐兵以外ニ就テハ修文ニシテモ